荒尾市民病院を現地に建設します

「市民病院敷地とその隣接地（現地）」に新病院を建設します。
建設地については現在の敷地約 3ha と南西部の民有地約 1ha を取得して新病院を建設する予定です。

問政策企画課病院建設推進室
☎ 62-1222

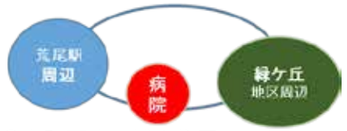
1．建設地決定の理由—現地に建設地を決めた 3 つのポイント—

ポイント 1 利便性

中核病院の機能を安定的に果たせる場所

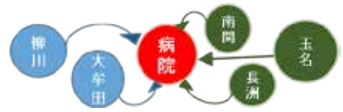
◎荒尾市民

2 核のまちの中間に位置しアクセス良好な立地



◎有明医療圏域の住民

国道 208 号や国道 389 号、将来は有明海沿岸道路からも容易にアクセス！



ポイント 2 拡張性

医療制度や、医療需要の変化に柔軟に対応可能

・敷地面積 4ha
・医療施設の増設が可能
将来の建替えも十分可能な広い敷地です。

ポイント 3 容易性

都市計画の変更など困難な法令手続きが無い

通常行う法手続きなど（開発行為・建築基準法など）のみで、新病院の開院が確実に見込めます。

南西側から見た建設予定地

2．概算事業費

●事業費の内訳

（総事業費）約 **109** 億 **1** 千万円 ー （国からの補助金など）約 **29** 億 **5** 千万円 ＝ （実質負担額）約 **79** 億 **6** 千万円

設計費 2.8 億・病院建設費 72 億・医療機器等整備費 19.1 億・解体撤去費 4.8 億・関連事業費 10.4 億
※関連事業費の内訳　用地補償費 (国有地含む)6 億 9 千万円・文化財調査費 4 千万円・造成費 3 億 1 千万円

3．開院予定

開院時期は標準工期で算出しており、発注方式・工法などの工夫により工期短縮に努めます。

※ 新病院開院後、解体・土壌調査・駐車場整備を行う。※ 土壌調査の結果次第では工期短縮の可能性もある。

4．開院後の市民病院の姿

●充実した医療を提供

・がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・救急・災害・周産期・小児医療などの充実

●医療機能の強化

・小児科の充実、歯科口腔外科の開設および高次脳障害や入院中の心理的な問題への対応などの診療機能の強化拡充
・地域救命救急センターの指定・災害拠点病院の指定など

●利用しやすい環境

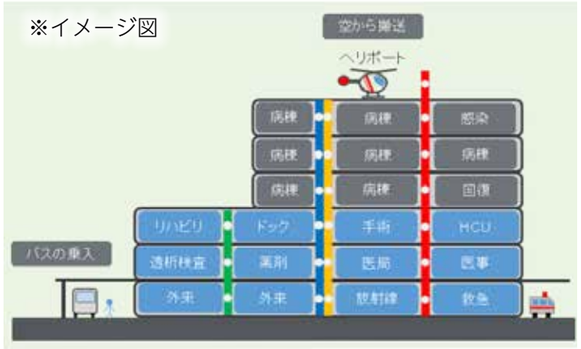
・ユニバーサルデザイン（バスの乗入れ・案内標示・バリアフリーなど）
・アメニティの充実（カフェ・レストランなど）

●地域に開かれた病院

・公開講座の開講・医療福祉相談室の強化

●地域包括ケアシステムの構築

・関連施設（介護施設など）との連携



※新病院の配置や階数などは設計段階で決定していきます。

新病院建設地市民説明会を開催しました

10 月 10 日～ 19 日、市内 10 ヶ所で開催しました

【アンケートに記入された主な意見】

○現地建替えの判断で良かった。今後は一日も早い開院を望む。
（ほか、早期開院を望む声が多数）
○新病院建設に当たって医師、看護師などの人材確保が重要。
○充実した医療環境の提供のため、診療科の開設や人材育成にも力を入れて頑張ってほしい。
○誰もが使いやすい病院にしてほしい。バリアフリーやコンビニを併設するなど、アメニティの向上を期待する。
○交通の便を良くして欲しい。バスなどについても乗換えなく病院に行ける環境整備（乗合タクシー含む）を望む。

【説明会を終えて…】

「現地」に新病院を建設することについては、どこの会場においても反対の声はありませんでした。今後は、新市民病院の早期開院に向けて、全力で取り組んでいきます。
※ 11 月の臨時議会にて、建設に伴う関連予算が承認されましたので、早急に必要な調査などに着手することにしています。